

## 会 議 録

会議名	令和元年度 第2回印西市子ども・子育て会議
開催日時	令和元年10月29日（火）午後2時00分から午後3時55分まで
開催場所	印西市文化ホール2階多目的室
出席委員	西村 信会長、加島 朋子委員、横山 賢一委員、古賀 一人委員、岩井 基委員、 小谷 博子委員、海老原 由美委員、塩田 幸子委員、塚田 昌幸委員、片岡 一郎委員、 杉山 充子委員 <span style="float: right;">計 11名</span>
欠席委員	島浦 美智子委員 <span style="float: right;">計 1名</span>
出席職員等	[健康子ども部] 部長 小川 誠一郎 [事務局] 子育て支援課 高橋 幸江、堀越 庄一、海老原 勝人、木村 裕子 [関係課] 保育課 岩井 大治、大菅 孝幸、菅谷 幸司、石井 亮 健康増進課 澤田 慎一 障がい福祉課 細谷 利春 学務課 藤代 悠子 生涯学習課 関口 節子
傍聴者	2名
会議次第 議 題	1. 開 会 2. 会長あいさつ 3. 議 題 （1）第2期印西市子ども・子育て支援事業計画（骨子案）について （2）私立幼稚園の利用定員について （3）その他 4. そ の 他 5. 閉 会
配布資料	・令和元年度 第2回印西市子ども・子育て会議 会議次第 ・【資料1】第2期印西市子ども・子育て支援事業計画（骨子案） ・【資料2】第2期印西市子ども・子育て支援事業計画の見込み量と確保策について ・【資料3】私立幼稚園の利用定員について

## 会議概要・審議経過

会議、公開等について説明（傍聴は2名）  
出席者11名で過半数を超えていることを報告  
資料の確認  
健康子ども部長からのあいさつ

### 1 開 会

### 2 会長あいさつ

西村会長からのあいさつ

### 3 協議等

(1) 第2期印西市子ども・子育て支援事業計画（骨子案）について

○事務局より説明

○質疑

【委 員】 子育て世代包括支援センターは設置する予定か。

【事 務 局】 令和2年末の設置に向けて子育て支援課と健康増進課で検討している。

【委 員】 どこかの施設に設置するのか。

【事 務 局】 子育て支援課と保健センターに各々設置し、母子手帳の配布や利用者支援を実施する予定である。

【委 員】 ネオボラ等の名称は付けるのか。

【事 務 局】 今後検討していく。

【委 員】 母子手帳はどこで配布しているか。

【事 務 局】 保健師が面接して配布するため、市内各保健センターと予約により中央駅前地域交流館で実施している。

【委 員】 子育て世代包括支援センターでは、児童虐待など子どもの問題を総合的に対応するようにはしていきたい。

【委 員】 保健師の面接などにより、虐待を把握し、予防していくことなどは進めていくのか。

【事 務 局】 子育て世代包括支援センターでは、母子型と基本型の2本立てで進め、現在実施していることを連携して強化することになる。令和6年ごろには、総合拠点を新設し、子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点を一体的に進めていく予定である。

【委 員】 そのような方向性があり、予定が計画期間内であるので、核となることであり、施策

- の目玉になるので、もっと記載を明確にした方がよい。
- 【事務局】 検討する。
- 【委員】 第2期で強化する施策や新たな施策について教えていただきたい。
- 【事務局】 子育て支援課の新たな施策は、子育て世代包括支援センター、子ども家庭総合支援拠点、子ども学習支援事業などになる。第1期では、具体的な施策等がなく、第2期より記載しているため、第1期から違いについては明確にできない状況である。
- 【事務局】 表紙の愛称やP. 16の基本理念についてはどうか。
- 【委員】 安心して子育てできるまち、まちを入れ身近に感じるようにする。
- 【委員】 子育ては楽しいだけではない。
- 【委員】 楽しいだけでは子どもは育たない。
- 【委員】 育てる側と育つ側の並列がよい。子どもが健やかに育つことと安心して子育てできるなどを入れる。
- 【事務局】 委員の意見を参考に庁内で協議し、報告します。
- 【会長】 「第2期印西市子ども・子育て支援事業計画（骨子案）」については、承認でよろしいか。
- 【委員】 全員異議なし。

## (2) 私立幼稚園の利用定員について

○事務局より説明

○質疑

- 【委員】 印西市の新制度に移行する幼稚園どうなっているか。
- 【事務局】 市内に6幼稚園があるが、現在はこの西の原幼稚園だけである。
- 【委員】 新制度に移行するべきではないか。
- 【事務局】 新制度への移行は幼稚園としての法人の判断となる。
- 【委員】 定員が少ない幼稚園は移行した方がよいのではないか。
- 【会長】 幼稚園協会の会合で意見を出し報告する。
- 【委員】 新制度は、行政にとってどうなのか。
- 【委員】 事務的に自治体に負担が増えることになるが、国では力を入れているので、全国には加速していくと考える。
- 【委員】 沖縄では、こども園への移行が多い。
- 【会長】 将来的には、印西市が調整していく方がよい。
- 【会長】 「私立幼稚園の利用定員」については、承認でよろしいか。
- 【委員】 全員異議なし。

(3) その他

○質 疑

なし

4 その他

- 【委 員】 10月からの無償化の影響はどうなっているか。  
【事 務 局】 市外からの問い合わせに苦慮しているところである。
- 【委 員】 幼稚園の預かり保育はどうなっているか。  
【事 務 局】 幼稚園の預かり保育は、私立幼稚園6園、こども園5園で行っている、市立幼稚園では行っていない。
- 【委 員】 保育士不足で定員割れしているのではないか。  
【事 務 局】 入所人数から、保育士は不足していないと考えている。  
【委 員】 現状、保育士は入ってこないのに、キャパいっぱいまではいっていない。千葉は保育士が不足している。
- 【委 員】 公立の保育園が定員割れしているのは、保育士不足によるのか。  
【事 務 局】 正職の数が少なく、保育士の確保には苦慮している。保育士の確保について今後検討していくので協力をお願いしたい。
- 【委 員】 東京などでは、奨学金の助成などで、長く働く人の確保をしているが、印西市ではどうか。印西市に住みたいと言っている学生も多いので検討していただきたい。  
【事 務 局】 印西市でも、奨学金の助成等を検討し、保育士の確保を進めていきたい。
- 【委 員】 公立の幼稚園では、周囲に私立の保育園ができることにより、先生が辞めて保育園に移るケースが多く、不足している状況が続いている。先生の確保について検討していただきたい。  
【事 務 局】 公立の幼稚園では、正規の職員が不足しており、非常勤に頼っている状況なので、今後も先生の確保に努めていく。
- 【委 員】 虐待などでは、問題が複合的に絡んでくるので、ワンストップもよいが、専門機関が連携して、相談に対応する体制が必要と考える。  
【委 員】 連携も必要であるが、核となる人が必要と考える。  
【委 員】 入り口はどこでもよく、まずは相談しやすい体制が必要で、その後総合的に対応する方がよいと考える。  
【委 員】 妊娠期間に問題が出てくるケースが多いので、妊娠中の相談体制が重要と考える。  
【委 員】 年代に関係なく問題は出てくるので、幅広い相談体制が必要と考える。

【委員】 外国籍の子どもの虐待で、相談を受けたところから他の機関も情報を共有し、連携して対応しているケースもある。

○委員の任期が12月5日で終了することを報告

○事務局より連絡事項等

・次回会議予定について

## 5 閉会

令和元年度第2回子ども・子育て会議の会議録は事実と相違ないことを承認する。

令和元年 11月 29日

子ども・子育て会議委員 加島 朋子

子ども・子育て会議委員 横山 賢一